

# 農林水産業

## 農家数

平成22年2月1日現在(2010年世界農林業センサス)の総農家数は5万2,355戸で、前回調査の平成17年(2005年農林業センサス)に比べ7,342戸(12.3%)減少しました。総農家数を自給的農家と販売農家の別にみると、自給的農家は1万9,390戸、販売農家が3万2,965戸で、前年に比べ自給的農家が456戸(2.3%)、販売農家は6,886戸(17.3%)減少しています。

販売農家を主副業別にみると、主業農家が3,218戸(構成比9.8%)、準主業農家が7,797戸(同23.7%)、副業的農家が2万1,950戸(同66.6%)となっています。

図14 総農家数の推移

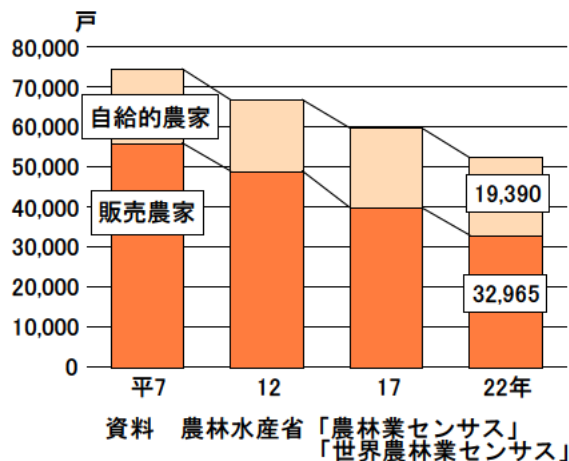
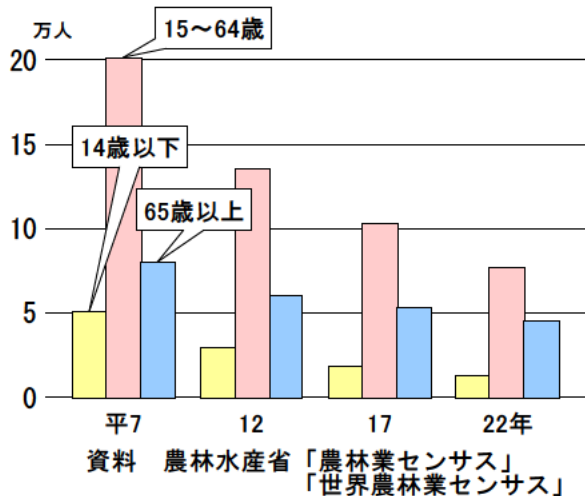


図15 農家人口の推移(販売農家)



## 農家人口(販売農家)

平成22年2月1日現在(2010年世界農林業センサス)の農家人口(販売農家)は13万4,284人で、前回調査の平成17年(2005年農林業センサス)に比べ3万9,101人(22.6%)減少しています。

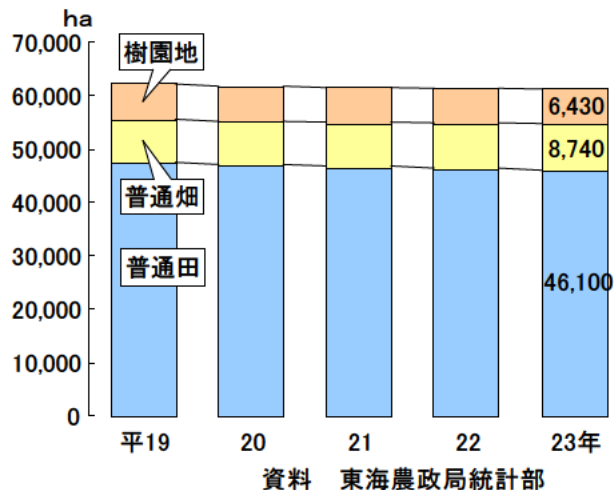
年齢別では、14歳以下が1万2,447人(構成比9.3%)、15~64歳が7万6,069人(同56.6%)、65歳以上が4万5,768人(同34.1%)で、平成17年に比べ、14歳以下が5,730人、15~64歳が2万6,153人、65歳以上が7,218人の減少となっています。

## 耕地面積

平成23年の耕地面積は6万1,300haで、前年に比べ200ha(0.3%)減少しました。

種類別にみると、普通田が4万6,100ha、普通畑が8,740ha、樹園地が6,430haで、前年に比べ普通田が300ha(0.6%)、樹園地が20ha(0.3%)減少し、普通畑は160ha(1.9%)増加しました。

図16 種類別耕地面積の推移



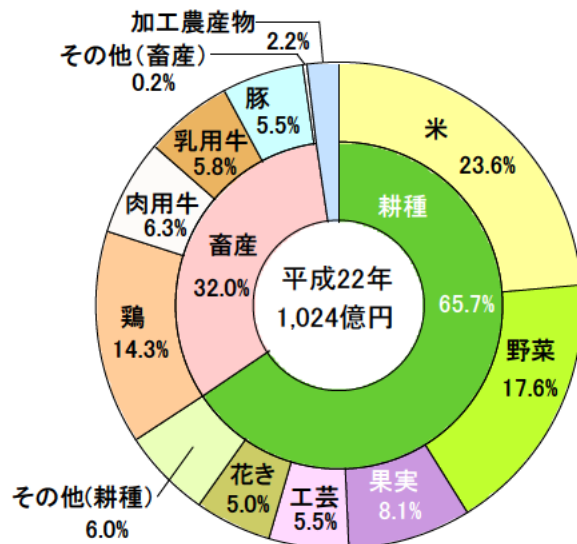
農業産出額

平成 22 年の農業産出額は 1,024 億円で、前年に比べ 34 億円 (3.2%) 減少しました。

種別割合をみると、耕種 65.7%、畜産 32.0%、加工農産物 2.2%となっています。

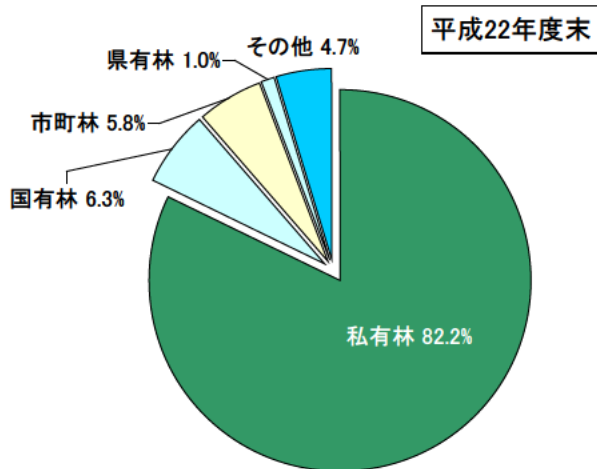
また、品目別では米が最も多く 242 億円 (構成比 23.6%) で、以下、野菜 180 億円 (同 17.6%)、鶏 146 億円 (同 14.3%)、果実 83 億円 (同 8.1%) などとなっています。

図17 農業産出額の品目別構成比



資料 東海農政局統計部

図18 森林保有形態別割合



資料 県森林・林業経営課

林業

平成 23 年 3 月末現在の森林面積は 37 万 2,529ha でした。

保有形態別にみると、私有林が 82.2%と大半を占め、以下、国有林 6.3%、市町林 5.8%、県有林 1.0% などとなっています。

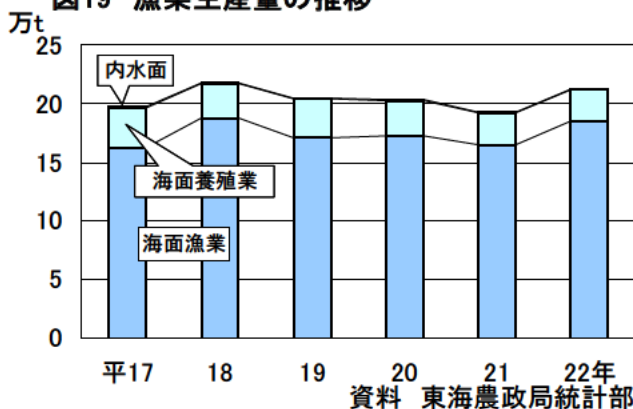
また、民有林のうち人工林面積は 21 万 8,046ha で、天然林面積は 12 万 3,394ha となっています。

漁業

平成 22 年の漁業総生産量のうち、海面漁業は 18 万 5,301t で、前年に比べ 2 万 287t (12.3%) 増加しました。海面養殖業は 2 万 6,505t で、前年に比べ 696t (2.6%) 減少しました。内水面漁業は 336t で前年に比べ 27t (7.4%) 減少、内水面養殖業は 390t で 6t (1.6%) 増加しました。

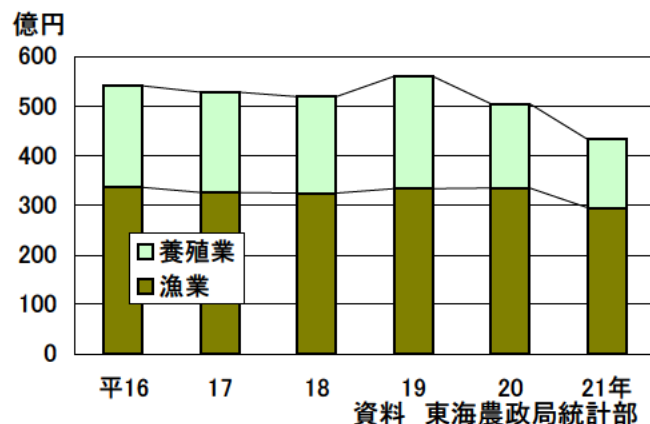
また、海面漁業の 21 年の生産額は 295 億 400 万円で、前年に比べ 39 億 2,400 万円 (11.7%) 減少しました。海面養殖業の生産額は 137 億 4,400 万円で、前年に比べ 32 億 5,000 万円 (19.1%) 減少しました。

図19 漁業生産量の推移



資料 東海農政局統計部

図20 漁業生産額(海面)の推移



資料 東海農政局統計部